

北陸の眼科医をつなぐ情報マガジン

FREE
PAPER

EYELINK

2025
Vol. 27

日本眼科学会常務理事

近藤峰生専門医制度委員長に聞く

これからの眼科専門医制度について



日本眼科学会常務理事
専門医制度委員長
三重大学医学系研究科教授

近藤 峰生

富山大学医学薬学研究部
眼科学講座 教授

林 篤志

これからの 眼科専門医制度について

日本眼科学会常務理事

近藤峰生専門医制度委員長に聞く



日本眼科学会常務理事
専門医制度委員長
三重大学医学系研究科教授

近藤 峰生

富山大学医学薬学研究所
眼科学講座 教授

林 篤志

眼科専門医制度は、2022年10月1日から「日本専門医機構の専門医更新基準」に則った新専門医制度を開始しました。専門医制度委員長を務める三重大学近藤峰生教授と富山大学の林篤志教授に、制度移行の現状と課題、これから眼科専門医を継続していく意義や質の高い医療提供を提供するために果たすべき役割についても話していただきました。

新専門医制度の現状と 今後の課題とは

林 ●近藤先生は日本眼科学会の専門医制度委員長を務めておられますので、専門医制度について、そして三重大学の教授も務めておられるので、眼科学講座運営についても教えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

近藤 ●よろしく申し上げます。

林 ●まず専門医制度についてですが、会員ほぼ全員が新制度に移行しました。無事先生のお力で予定通りに進められたと思います。これらのスケジュールについて教えていただけますか。

近藤 ●多くの眼科の先生にとって、あと約3年で新専門医への移行が完成になります。今後は新しい認定時の2028年4月までに学会や講習会などで、単位を50単位しっかり集めること。これに関しては各先生方順調なようで、半分以上取得している先生も多いと聞きます。

林 ●これから徹底すべきなのはどのようなことでしょうか。

近藤 ●必修講習についての周知です。全ての先生が取るべき必修講座Aと、2022年からの新

しい専門医が取らなくてはいけない必修講習Bという特別な講習があります。この必修講習Bは、周知があまり徹底されていません。臨床眼科学会の後にも必修講習Bのオンデマンドがありますが、かなりの先生が知らなかったようで、現在メールや眼科医会の先生方を通じて周知しています。

林 ●該当する都道府県の眼科医会の会長にもしっかり認識してもらおう必要がありますね。

更新時には50症例の報告で 臨床実績の証明が必要

林 ●臨床実績の提出も重要そうですね。

近藤 ●5年後の更新の時に試験をやる方式と、症例を書き出す方式の2つがあり、眼科は後者の方式で50症例を書き出すことになりました。5年ごとに試験を受けるのはかなり抵抗があるという意見も多く、50症例なら書き出せばすぐに提出できるだろうと。専門医と言いながら全く患者さんを診ていない、ということがないか証明が必要になったということです。

林 ●専門医機構と交渉し更新しやすい形にしたいんでいるのは、ありがたいことです。

近藤 ●ただ将来何らかの形で試験が必須となる

可能性もあります。その場合も、専門医の資格が無くなるわけではなく、10問や20問の試験をEラーニングで行って、仮に不合格でも何度でも挑戦できるなどの工夫をしないといけないと思っています。

林 ●現段階では更新時に試験は無いと。それは非常に喜ばれると思います。

近藤 ●眼科は全員一斉に更新しましたので、新専門医に移行する率が非常に高い診療科になるのは間違いありません。他の科では、5分の1ずつ新制度と旧制度の単位を別々に取っていく複雑な方式で進行しなければいけないので、面倒で辞めてしまう先生も多い。一斉更新は眼科だけのやり方で、ほぼ全員の先生方が移行したことを考えると大成功だったと思っています。

林 ●先生のおかげだと思います。各地域での一般講演は専門医制度の単位がとれるのでしょうか？

近藤 ●残念だったことは、一般講演の単位が取れなくなりました。しかし眼科ではカップリング方式と言って、各地域の講演会では一般講演の1時間に1時間の特別講演を合わせれば合わせて1単位(0.5単位×2)取れるという方法が採用されました。組み方により一般講演でも単位が取れるのも眼科だけです。従来通りやっていけると思います。



専門医制度の意義とは 患者への責任と医療の質向上を

林 ●眼科を選択する以上全員が専門医であるべきだと私は思っているのですが、専門医を継続していくことの意義についてお考えを聞かせてください。

近藤 ●本質的で重要な問題だと思います。私もほぼ全ての先生が専門医を目指し維持していくべきだと考えます。ガイドラインに沿った標準的な治療を間違いなく患者へ届けられる医師を育てることが大切です。疾患に対するガイドラインを熟知し、学会を通じて学び、それをどの地域でも保険や診療のルールに準じて行うこと

がこの先はあぶれてしまう。一部でも眼科に来る医師がいれば、改めて学び専門医を取得してもらえよう協力をしなければと思います。

若手医師を育てる環境づくり 三重大学眼科の取り組みについて

林 ●大学の眼科学講座運営についても伺いたいのですが、教室員に普段伝えていたりことや三重大学の眼科の方向性をぜひ教えていただきたいです。

近藤 ●今は若い人の考え方が昭和の時代とは違うので、彼らの気持ちも考えながら医局運営をしていかなければと考えています。大学や関連病院で学んだ後に、外の病院やクリニックに行く確率も高い。しかし、もしそうであつても若い時期に大学及び関連病院で学んで本当によかったと実感してもらえような研修時期にしなければと常々思っています。そのためには、居心地の良い医局作りや雰囲気ですね。上が中堅を教え、中堅が下を教える屋根瓦方式で、憧れの先輩のようにになりたいと向上心を持ち勉強できる教室にしたいと思います。

問題点を挙げれば、今からという時期にどうしても(新規)開業の話が出てしまうこと。憧れの存在になる中堅が抜けてしまう。育てるまでも時間がかかるので苦労しています。目を輝かせて汗水たらして診療にあたり、後輩にも教える

ができる。それは患者のためにも非常にいいことだと思います。

また、専門医制度から外れた先生が、自分本位の利益だけを追求した診療を行うと大変なことになります。保険診療の基礎も徹底してない先生が、手術すべきでない人に手術をして儲けだけに走ってしまうと一生懸命やっておられる先生が食べられない不公平な事態になる。それだけは絶対に避けたいと考えています。

林 ●そういう意味では、専攻医を受け入れる専門医プログラムでの教育が大切ですね。

近藤 ●患者のことを考えてしっかりと学び続けて、平等に標準治療を行えることが重要です。また、人数に関しては、足らなくても困りますし増えすぎても困る。私たちは眼科独自で、年間どれくらいの眼科医の数が必要なかを将来にわたって地域ごとに算出し、本当に必要な数の調査を始めています。

林 ●やはり我々自身が調べて提案していくのが望ましいと思います。そのデータはぜひ教えていただきたいですね。

近藤 ●現在の適正人数は専門医機構が約10年前に調査したものです。この10年間、眼科は全科の中で最も受診患者数が増え、130%にという子どもが出てきてくれることを祈りながら、褒めて育てるといふ方針で進めています。

林 ●素晴らしいです。専門領域をどう育てるかに関しては、どのようにお考えでしょうか。

近藤 ●一通りの分野までは、くまなく育てるようにはしていますが、その後の専門分野は角膜、網膜、緑内障、小児外科、神経眼科など専門を持ってほしいと考えています。基本的には自由に決めさせていますが、ある分野が少ない時にはこの分野をとお願いすることもあります。三重大学は県下に1大学しかないのです、一つの分野に集中しないようバランスも考えつつやっていますが、なかなか難しいです。

林 ●研究指導はどのように行っていますか。

近藤 ●地方大学ですと基礎研究はなかなか少数で難しいので、臨床研究が中心です。データを基にした臨床研究で、診療や手術も続けながら学位が4年間で取れるようにと工夫しています。たまに基礎研究をみっちりやりたいという子もいて、今彼は理研の高橋政代先生の元で学んでいます。悔いが残ることがないよう研究に励んでもらっています。

林 ●では最後に、近藤先生は金沢大学のご出身でもありますから、北陸の眼科の先生方にメッセー

増加しています。健診での掘り起こしや高齢化社会により受診数が増えていることも加味して決定すべきです。

林 ●人口動態にも関わります。逆にこの10年は増加しましたが、これから先の10年、その先の10年は違う可能性も高いですね。

近藤 ●その先は医師余りが問題になってくる。オーバーしすぎて医師が困ることがないよう患者が満足する医療を提供しながら、医師にとつても働きがいのある環境を整えることが大切です。

林 ●必修講習Bの項目に目を通してみましたが、これは必要だと感じました。眼科領域でも、全てが5年も経つとガラリと変わります。遺伝性疾患の治療などは無かったわけですから。変化に対応していく意味でも知識を身につける必要性がありますね。

自由診療志向が加速する中 より高まる専門医の重要性

近藤 ●一通り診察できないと見逃しが出て患者のためにもならないので、専門医としての広い視野は大切ですね。多くの若者が卒業と同時に美容外科に行くのも大きな問題です。間違いな

ジをいただけたらと思います。

近藤 ●6年間雪の積もる中、筋力トレーニングや友達とコタツで勉強したことを思い出し、今でもバックボーンは北陸にあると思っていますし、金沢大学出身であることを誇りに感じています。本当に北陸の先生方は、診療も研究も非常に真面目で素直な先生が多く、尊敬しております。ますます北陸の地域から眼科学にも貢献する素晴らしい先生が育ってくれることを心から願っております。

林 ●ありがとうございます。先生の期待に応えられるよう皆で頑張りたいと思います。今日は色々なお話をありがとうございました。

近藤 ●ありがとうございました。



公立小浜病院

福井県小浜市大手町2番2号
TEL : 0770-52-0990



【スタッフの紹介】
常勤医師1名、視能訓練士2名、検査補助員1名、看護師1〜3名、医療事務1名です。福井大学医学部附属病院より非常勤医師の応援をいただき、月・木曜日は2診体制で診療を行っております。火曜日には福井大学の稲谷教授が手術にきていただいております。

【診療実績・治療実績】
午前中に一般外来を行っており、外来患者数は1日40〜60人です。午後はコンタクト外来、視野検査、レーザー治療等を行っております。手術は火・木曜日の午後、主に白内障手術(MIGS併用可能)と硝子体内注射を行っております。令和5年度は白内障手術322件

(内MIGS併用42件)、硝子体内注射184件でした。

【アピールポイント】
小浜市と近隣の町には眼科が当院を含めて3件(内1件は土日診療のみ)しかないため、多くの患者様が当院を受診されます。眼科の病院が少ない分、スタッフが患者様をよく把握しており、眼科以外の体調の変化にも気付き、早期治療につながることもあります。また、重症例や硝子体手術、緑内障手術等が必要な患者様もおりますが、福井大学附属病院と連携を取りながら治療を行っております。これからも地域の医療に貢献できるよう精一杯努めてまいります。

かみいち総合病院

富山県中新川郡上市町法音寺51
TEL : 076-472-1212



【スタッフの紹介】
視能訓練士3人と看護師1人体制で診療を行っています。視能訓練士のうち2人は新人さんです。大学から林教授の奥様が最初の数か月指導に来てくださったり、元々働いておられた上司に当たる方の指導もあり、現在では検査も早く行えるようになりました。

【診療実績・治療実績】
外来は1日30〜40人程度で、白内障手術をメインに行っており、硝子体注射も行っていきます。手術は週に7〜9件ほど行っています。

【アピールポイント】
まずは待ち時間が短くなったという事です。去年は視能訓練士1人

体制でしたが、今年から視能訓練士3人体制になり、検査の速度が上がったことから明らかに待ち時間が短くなったという声を耳にしています。また、当院は富山大学附属病院からかなり遠いため紹介が必要な場合とそうでない場合を見極める必要があります。特に専門分野は持ち合わせていませんが各分野の知識はある方なので、紹介が必要かどうかの見極めはしっかりできていると思います。さらに大学から緑内障専門医である大塚先生が月に1度来てくださっているので大学受診せずとも緑内障専門外来に受診できる事も強みかと思えます。

DORC
オランダ ドルク社



EVA
NEXUS

EVA NEXUS

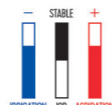
眼科手術システム

VacuFlow VTi

VacuFlow VTi(Valve Timing intelligence)は、ピストンを利用した流体制御システムであり、Vacuumモード/Flowモードを設定することが可能です



BSSの残量通知を2段階のアラートで行い術中の安全性を確保



SMART IOP™でより安定した前房圧を維持

RE アールイーメディカル株式会社
R E MEDICAL, INC.
www.re-medical.co.jp

KAI
MEDICAL

KAIは医療の安全とQOLを追究し続けます

セーフティーナイフ
SAFETY KNIFE

独自の安全機構と操作性
Unique shape of safety mechanism/Operability



ブレードがカバーで保護され
使用時はカバーを片手で簡単操作

特許取得のスリムなカバーで、
手元の見やすさや握りやすさを追求
(特許第6820214号、特許第5537880号)

製造販売元
カイ インダストリーズ株式会社
医療器事業本部 国内営業部

〒501-3992 岐阜県関市小屋名1110
Phone (0575)28-6600 Fax (0575)28-6611
https://www.kaimedical.jp/



詳細はこちらから



診療・治療のコツとテクニック

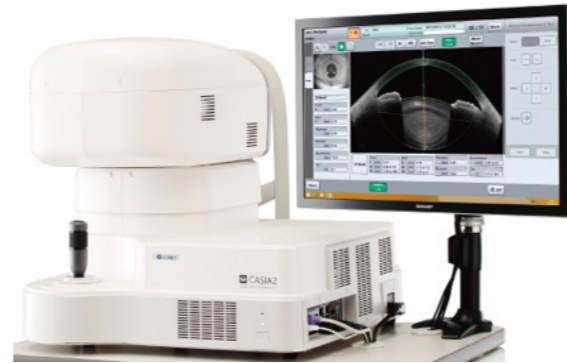
Tips and techniques for medical treatment

前眼部OCTによる術後IOL偏位の予測

白内障手術において前眼部 OCT (CASIA2) は角膜前後面乱視を評価し最適なトーリック IOL 選択に有用であるのと同時に水晶体偏位も評価可能です。前眼部 OCT で測定した術前の水晶体偏位から術後 IOL の偏位を高い精度で予測でき、水晶体偏位が大きいほど術後 IOL 偏位も大きくなるのが分かってきています。IOL 傾斜の増加により乱視およびコマ収差が増えることで術後視機能は低下し、偏心の増加は術後屈折の遠視ずれ、高次収差の増加および低加入度分節型 IOL では瞳孔縁に占める遠用部と近用部の比率が変化し全距離視力に影響するため、術前の水晶体偏位の評価は精度の高い屈折矯正白内障において極めて重要です。

金沢医科大学眼科

三田 哲大

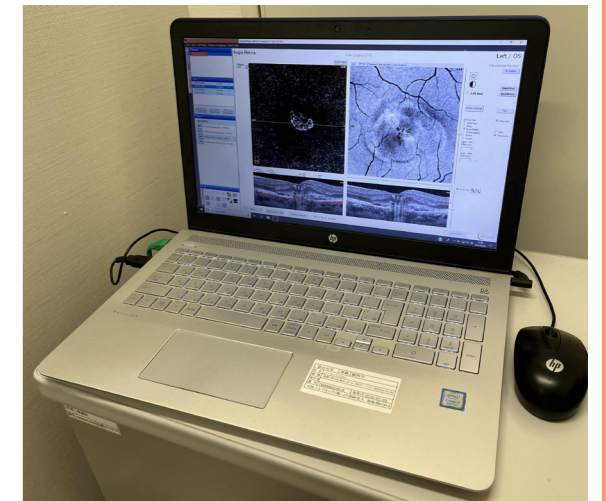


光干渉断層血管撮影画像のラインを動かす

私の診察のコツは、「光干渉断層血管撮影 (OCTA) 画像のラインを動かすこと」です。数年前から診察室でこれができるようになり、多くの網膜疾患の診察に欠かせない存在になりました。同僚の先生方と、ラインを動かしながら診察室で症例の相談をし合うこともよくあります。OCTA が大学で使用できるようになった当初は、アーチファクトもあり画像の読み方が難しいなあという印象でした。しかし、セグメンテーションラインと B-scan ラインを上下に動かして繰り返し見るうちに、1枚の静止画像では得られない多くの情報を得られることがわかりました。黄斑部新生血管の有無、大きさ、部位、活動性、PCV 症例のポリープ状病巣の個数など、日々の診療に大変有用です。他の画像機器 (OCT や FA/ICGA、自発蛍光など) と組み合わせて評価することで、より正確な診断が可能になると思います。現在、診察室に置いてもらっているデバイスのおかげで、本体まで行かずとも診察室で画像のラインを動かすことができ、大変有難い存在になっています (図)。

富山大学眼科

上田 朋子



MANI®

The Ultimate in Sharpness 究極の切味



〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地 8-3
お問い合わせ先 TEL 028-667-9911 FAX 028-667-6177
E-mail: seg-dms@ms.mani.co.jp
8-3 KIYOHARA INDUSTRIAL PARK, UTSUNOMIYA, TOCHIGI, 321-3231, JAPAN
Phone: +81286677565 Fax: +81286676177

MANI®
MANI, INC. マニー株式会社

連続焦点

Full Visual Range IOL*

TECNIS Odyssey™ IOL

with TECNIS SIMPLICITY™ Delivery System

遠方から近方まで
連続的範囲で視力を維持

残余屈折に対する
高い耐性²

夜間光視症の
軽減^{***}

昼夜を問わず
質の高い見え方^{****}

* According to ISO 11979-7: 2024,
based on the clinical study of the parent IOL.
** 20/25 or better
*** vs. leading competitor trifocal IOL

1. Data on File (2023) DOF2023CT4023
2. Data on File (2024) 2024DOF4003
3. Data on File (2024) 2024DOF4005
4. Data on File (2023) DOF2023CT4007

Johnson & Johnson

販売名: テクニス オデッセイ VB Simplicity 医療機器承認番号: 30600BZX00024000
販売名: テクニス オデッセイ TVB Simplicity 医療機器承認番号: 30600BZX00025000

エイムオー・ジャパン 株式会社

東京都千代田区西神田3丁目5番2号
R1369ADRNO-24Q30001
2024PP14879

© AMO Japan K.K. 2024


新製品 超広角走査型レーザー検眼鏡 **California RGB**

販売名 超広角 SLO California 一般名称 眼撮影装置
届出番号 305ABBZX00032000 特定保守管理医療機器

株式会社 **ニコン ソリューションズ**

ブルーレーザーの追加で、より自然な色味の眼底画像に

- 超広角眼底画像を無散瞳・非接触で撮影
- ワンショット0.4秒未満で、眼底の約80%の領域をカバー
- FA、ICG画像も撮影可能なモデルもラインナップ



選択肢をつくる。
希望をつくる。

田辺三菱製薬

<https://www.mt-pharma.co.jp/>




“見える”の向こうにあるものを。

SENJU

03107 千寿製薬株式会社 〒541-0048 大阪市中央区瓦町三丁目1番9号 TEL.06-6201-2512(代表) URL.<http://www.senju.co.jp/> 2018年10月作成



TOMEY

マルチファンクション・レフラクトメーター **MR-6000**

まさにマルチレフ。
レフ・ケラト・トノ・パキ・トポに
ドライアイも。

より詳細な製品情報はウェブサイトをご利用ください
<https://oph.tomey.co.jp/>

製造販売元 株式会社 トーメーコーポレーション 〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目11番33号
TEL.(052)581-5321 FAX.(052)581-5626 URL <http://www.tomey.co.jp>



TS Trust & Safety
～信頼と安全の思いを込めて～

テイカ製薬株式会社
Teika Pharmaceutical Co., Ltd.
〒930-0982 富山県富山市荒川1-3-27
TEL.076-431-1717 FAX.076-431-6707
<http://www.teika.co.jp/>
[資料請求先 テイカ製薬株式会社 医薬営業部]
AD-XXX-025-A-2311



M.E.Technica

最新のテクノロジーと熟練のクラフトマンシップが
ドクターの要求にお応えします。

株式会社 エムイーテクニカ 本社 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-34-4 TEL:03-5395-4588
営業所:札幌/仙台/名古屋/大阪/福岡 <http://www.metecnica.co.jp/>



島経営グループ MEDICA CONSULTING

事務長アウトソーシング
医療経営は**専門家**に任せてください

株式会社メディカ・コンサルティング
金沢市疋田1丁目3番地 <http://www.medicaconsulting.co.jp/>

- 増患・増収
HP制作 SEO・SEO対策 リスティング広告運用 施設基準確認
- スタッフ確保・育成
採用支援 スタッフ教育 月次ミーティング開催 定期個別面談
- 財務体質強化・承継
融資対応 医療法人化 補助金活用 親族承継 M & A



日本標準商品分類番号 871319

眼科用VEGF^(注1)/Ang-2^(注2)阻害剤
抗VEGF/抗Ang-2ヒト化二重特異性モノクローナル抗体
生物由来製剤、劇薬、処方箋医薬品^(注3) 薬価標準収載

バビースモ® 硝子体内注射液 120mg/mL
VABYSMO® solution for Intravitreal Injection
ファリシマブ(遺伝子組換え)硝子体内注射液

注1) VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor
注2) Ang-2: Angiotensin-2
注3) 注意-医師等の処方箋により使用すること
© F. Hoffmann-L Roche (Suisse) S.A. 登録商標

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については、電子化された添付文書を参照ください。

製造販売元  中外製薬株式会社 (資料請求先及び問い合わせ先) メディカルファーマーグループ (販売情報提供活動に関する問い合わせ先)
〒100-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL.0120-189-706 FAX.0120-189-705 <https://www.chugai-pharm.co.jp/guideline/>

2023年4月作成



**24時間・365日。
見守り、そして駆けつけます。**

特別キャンペーン開催中!

I'm ALSOK!

ALSOKは、とことん、あなたのために。

Always Security OK
ALSOK

北陸総合警備保障株式会社
代表取締役社長 森本 昇
本社 石川県金沢市松島1丁目41番地
TEL.076-269-8686

富山支社 富山県富山市問屋町2丁目8番地28号 TEL.076-452-2800
高岡支社 富山県高岡市あわら町1番地1号 TEL.0766-21-2112
福井支社 福井県福井市成和1丁目1504番地 TEL.0776-23-1306



日程	会名	場所	時間	演者
2025年 4月6日(日)	第354回金沢眼科集談会	ホテル金沢	10:00~13:00	白根 雅子 先生 (しらね眼科) 生野 恭司 先生 (いくの眼科)
2025年 7月18日(金)~ 7月20日(日)	第64回日本白内障学会総会 第51回水晶体研究会	石川県立音楽堂		学会長: 佐々木 洋 先生 (金沢医科大学) 学会長: 久保 江理 先生 (金沢医科大学)
2025年 10月18日(土)	第19回北陸オフサルミックフォーラム	ホテル金沢	16:55~19:05	未定
2025年 11月9日(日)	第45回金沢医科大学眼科研究会	金沢市アートホール	13:00~16:00	中澤 徹 先生 (東北大学)
2025年 11月16日(日)	第10回北陸斜視・小児眼科の会	ホテル日航金沢	11:00~13:00	未定

日程	会名	場所	時間	演者
2025年 3月1日(土)	第30回北陸眼疾患シンポジウム	ホテルグランテラス富山	17:00~19:10	坂田 礼 先生 (東京大学) 鈴木 崇 先生 (いしづち眼科) 木村 亜紀子 先生 (やさしい目のクリニック) 岡田アナベルあやめ 先生 (杏林大学)
2025年 3月8日(土)	第121回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山県民会館 (611号室)	18:30~20:30	山本 修一 先生 (独立行政法人地域医療機能推進機構) 横内 裕敏 先生 (帝京大学ちば総合医療センター)
2025年 3月22日(土)	第66回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富山	18:30~20:30	北市 伸義 先生 (北海海医療大学病院) 兼子 裕規 先生 (浜松医科大学)
2025年 4月26日(土)	第67回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富山	18:30~20:30	畑 匡侑 先生 (京都大学) 木村 和博 先生 (山口大学)
2025年 5月31日(土)	第68回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富山	18:00~20:00	丸山 和一 先生 (大阪大学) 崎元 暢 先生 (杉浦眼科)
2025年 6月29日(日)	第91回富山眼科集談会	富山県民会館 (611号室)	13:00~16:30	未定
2025年 10月4日(土)	第122回富山大学眼科臨床カンファレンス	富山県民会館 (611号室)	18:30~20:30	栗山 晶治 先生 (洛和会音羽病院アイセンター) 1名未定
2025年 10月25日(土)	第69回とやま眼科学術講演会	ホテルグランテラス富山	18:30~20:30	未定
2025年 11月15日(土)	第70回とやま眼科学術講演会	ANAクラウンプラザホテル富山	18:00~20:00	未定
2025年 11月30日(日)	第92回富山眼科集談会	富山県民会館 (611号室)	13:00~16:30	未定

日程	会名	場所	時間	演者
2025年 5月17日(土)	福井県眼科集談会	織協ビル	18:00~	後関 利明 先生 (国際医療福祉大学熱海病院) 森 隆三郎 先生 (日本大学病院)
2025年 8月30日(土)	福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00~	杵本 昌彦 先生 (山形大学)
2025年 11月29日(土)	福井県年忘れ眼科勉強会	福井商工会議所	18:00~	未定
2026年 1月17日(土)	福井県眼科集談会	福井商工会議所	18:00~	未定



眼の医療のために、できること

三和メディカル株式会社は眼科系専門商社です。
我々は眼の医療のために常にサポートします。

三和メディカル株式会社

〒920-0935 石川県金沢市石引4丁目4番6号
TEL: 076-222-1655 (代) FAX: 076-222-1668
E-mail: post@sanwamedical.co.jp
URL: http://www.sanwamedical.co.jp
2018年10月より三和器械株式会社は三和メディカル株式会社へ商号変更いたしました。